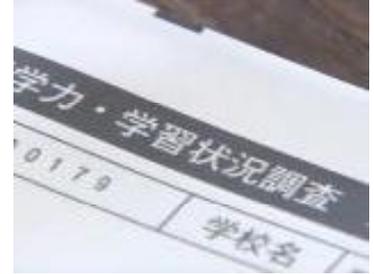


1. 令和5年度全国学力・学習状況調査結果報告（速報）

6年生を対象に、令和5年4月19日(水)に行われた「令和5年度全国学力・学習状況調査」について、本校の結果等をお知らせいたします。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。



(1) 児童に対する調査

① 学力に関する調査

〔国語・算数〕※それぞれ45分

- 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
 - 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容
- 上記2点を一体的に問う

② 学習状況に関する調査（オンラインで後日実施）※40分（20分程度の分量）

- 小学校第6学年の児童対象の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

(2) 調査結果について

① 学力に関する調査結果（平均正答率（%））について

全国学力学習状況調査の結果が7月31日に公表されました。結果は以下のとおりですが、特筆すべきは国語や算数の問題について全ての書く問題であきらめることなく最後まで解答を書こうと努力していたことです。とても素晴らしいことです。これからも何事にもあきらめずに様々なことに取り組んでいけると確信しました。

※国語は、全国平均、県平均より少し上回りました。

領域別に見てみますと、摂陽小学校の子どもたちが頑張っていたところは次のとおりです。

- 思考力、判断力、表現力等においては、全国平均と比べて
 - ・「話すこと・聞くこと」が上回りました。（+4.1ポイント）
 - ・「書くこと」が上回りました。（+8.7ポイント）
 - ・「読むこと」が少し上回りました。（+1.1ポイント）
- 知識及び技能においては、
 - ・「情報の扱い方に関する事項」が上回りました。（+5.8ポイント）

※算数は、全国平均と同じでした。

領域別に見てみますと、摂陽小学校の子どもたちが頑張っていたところは次のとおりです。

- 学習指導要領の領域においては、全国平均と比べて、
 - ・「数と計算」が少し上回りました。（+2.2ポイント）
 - ・「データの活用」が少し上回りました。（+1.2ポイント）

※平均正答率だけに一喜一憂するのではなく、内容を分析し、子どもたちのさらなる学力向上へ向けて具体的方策を考え、取り組んでまいります。ご家庭とも連携して進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞご協力よろしくお願いたします。